



データでみる福島再生

最近の動き

○除染等工事の進捗状況

- これまで、双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯館村、葛尾村が特定復興再生拠点区域として計画・認定され、家屋等の解体・除染等を実施し、概ね完了したことをうけ、令和5年5月1日までに全ての町村※において、避難指示が解除されました。

※富岡町の点・線拠点については、別途協議のうえ避難指示が解除される見通し

○除染仮置場等の状況（福島県内）

- 仮置場等総数1,372箇所のうち、28箇所では除去土壌等を保管中、1,344箇所では搬出が完了し、1,169箇所の仮置場で原状回復が完了しました。

○中間貯蔵施設の整備の現状

- 除去土壌の分別処理を行い、5月末時点で、約1172.2万 m^3 （輸送量ベース）の土壌を土壌貯蔵施設に貯蔵しました。
- 廃棄物の焼却及び焼却灰の灰処理を行い、5月末時点で、灰処理ばいじんを封入した鋼製角形容器18,772個を廃棄物貯蔵施設に貯蔵しました。

○中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送の進捗状況

- 2023年5月末時点で、約1,349万 m^3 の除去土壌等（帰還困難区域を含む）を中間貯蔵施設へ搬入しました。

○中間貯蔵施設用地の状況

- 用地取得については、5月末時点で契約者数1,854人、面積約1,286haについて契約しております。

○国直轄による対策地域内廃棄物等の処理進捗状況

- 災害廃棄物等の仮置場への搬入については、4月末時点で、約334万トンの搬入を完了しました（うち、約57万トンが焼却処理済、約229万トンが再生利用済）。
- 被災家屋等について、4月末時点で、約18,200件の解体申請を受付済であり、約17,600件を解体済です。

○国直轄による対策地域内における仮設焼却施設の設置状況

- 4月末時点で、約144万トン（除染廃棄物を含む）を各仮設焼却施設で処理しました。

○特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

- ・5月末時点で、277,095袋を特定廃棄物埋立処分施設へ搬入しました。

○放射線に関するリスクコミュニケーション活動状況（5月実施）

- ・放射線リスクコミュニケーション相談員支援センターにおいて、研修会を1回、専門家派遣を1回、住民セミナーを5回実施しました。
- ・環境再生プラザにおいて、専門家派遣を1回実施しました。
- ・内部被ばく検査（WBC）を4日間実施しました。
- ・ガンマカメラを活用した仮置場の現状回復後の放射線測定は実施がありませんでした。

○帰還困難区域等における鳥獣の捕獲状況

- ・今年度の捕獲数は、5月末現在でイノシシ27頭、アライグマ48頭、ハクビシン40頭となっています。